

# 立科町誌 歴史編(下)

## 目次

第五編 近代

題字 立科町長 遠山順孝

口絵写真  
はじめに  
例言

立科町誌編纂委員会委員長・歴史編主任  
長野女子短期大学教授 小林幹男

### 第五編 近代

#### 第三節 産業と農民負担

はじめに(近・現代編編纂主任 大橋幸文) 3

#### 第一章 村と宿場の明治維新

一 農業と諸営業  
二 堤と普請  
三 農民の負担と地租改正  
四 徵兵令と西南戦争

#### 第四節 宿場の交通と通信

第一節 小諸藩から長野県へ

一 宿・助郷の改正と陸運会社  
二 宿駅の生活と飯盛女  
三 郵便の始まり

#### 第二節 戸籍区・大小区制と村民生活

一 戸籍区から大小区制へ 16

二 区制下の村政と村合併 16

三 村の文明開化と太陽暦の採用 16

#### 第五節 神仏分離と民衆教化

一 神仏分離と社寺 47

二 民衆教化と村人 47

23 20 16 16 14 7 5 5 5

#### 第六節 近代学校教育のはじまり

53 51 47 47 46 43 41 41 37 33 29 27 27

一 明治維新期の寺子屋	53
二 学制発布と小学校の設立	54
三 学資金の調達	55
四 就学率の向上	57
<b>第二章 戸長役場と村民</b>	58
第一節 北佐久郡と村政	58
一 県政の変化と郡制のはじまり	58
二 戸長役場の設置と村政	59
三 村会の開設と村財政	61
四 連合戸長役場の成立と村政	65
<b>第二節 農業と商工業</b>	68
一 ため池と用水	68
二 入会紛争と林野	71
三 農業と商工業の新たな動き	74
<b>第三節 村民の生活と灾害</b>	78
一 コレラの流行と衛生対策	78
二 交番所の設置と消防	80
三 村民の生活と村規定	83
<b>第四節 近代学校教育の維持・運営</b>	86

**第三章 新しい村の発展****第一節 新町村制と郡制**

一 芦田・横鳥・三都和村の発足	90
二 郡制の施行と道路の改良	93

**第二節 日清・日露戦争と国政への参加**

一 日清戦争と村民の参加	98
二 日露戦争と村民の動き	101
三 国政・県政への参加	106

**第三節 産業の発展と生活**

一 稲作の改良	110
二 水の確保と努力	110
三 養蚕業の躍進	115
四 製糸工場と座縫製糸	118
五 家畜と牧場	123
六 国有林野下げ戻し運動と造林	124
七 伝統的産業の変遷	128

**第四節 社会生活の近代化**

一 教育行政と小学校の運営	86
二 生徒の学校生活と教員	87

一 交通・通信の改良.....	130
二 報徳社運動の広がり.....	135
三 五無齋保科自助の業績.....	139
四 青年団の発足と夜学会.....	143
五 衛生組合の活動と隔離病舎.....	145
六 区の規約と生活.....	147
七 消防と災害.....	151
八 村人の日常生活.....	153
九 新しい文化や宗教の吸収.....	155
<b>第五節 近代学校教育の展開 .....</b>	158
一 学校制度の改革・進展.....	158
二 蓼科実業補習学校の設立.....	161
三 御牧ヶ原大運動会.....	163
<b>第四章 大正デモクラシーと村民 .....</b>	165
第一節 村政の強化と郡制の廃止 .....	165
一 村政の新展開.....	167
二 村会と村財政の拡大.....	169
三 茂田井区の分村問題.....	171
四 芦田村外三ヶ村財産組合と官行造林.....	172
五 郡制・郡役所の廃止と村政.....	175
<b>第三節 生活の近代化 .....</b>	190
一 人口動態と国勢調査.....	190
二 電灯の普及.....	191
三 伝染病の予防と生活の見直し.....	194
四 青年団運動の高揚.....	197
<b>第四節 小作問題と社会運動 .....</b>	200
一 小作組合の設立.....	200
二 米騒動の影響と社会運動.....	202
三 第一次世界大戦と在郷軍人会.....	204
<b>第五章 昭和恐慌と戦争への道 .....</b>	204
第一節 昭和恐慌・戦時下の産業 .....	207
二 自由主義教育の広がり.....	208
三 芦田村外三ヶ村財産組合と官行造林.....	208
四 郡制・郡役所の廃止と村政.....	208
五 恐慌と農民生活.....	208
<b>第二節 産業の発達と産業諸団体 .....</b>	208
一 農業用水の確保と農事改良の展開.....	210
二 養蚕・果樹・畜産の発展.....	210
三 農会と産業組合の活動.....	210
四 交通・通信の発達.....	210

二 恐慌・戦時下の農業.....	209
三 農事組合の設立・経済統制.....	213
四 道路の改修と交通網・通信.....	214
<b>第二節 経済更生運動と村の政治 .....</b>	217
一 昭和前期の人口動態.....	217
二 村の政治と村の財政.....	218
三 租税の滞納と対策.....	221
四 経済更生運動の展開.....	222
<b>第三節 十五年戦争下の村民 .....</b>	225
一 戦争の拡大と戦死者.....	225
二 満州移民.....	226
三 常会・隣組と銃後活動.....	230
四 大政翼賛運動.....	244
<b>第四節 戦争下の生活・文化 .....</b>	246
一 文化・風俗の統制.....	246
二 村民の娯楽と文化.....	247
三 国民精神総動員と社会諸団体の統廃合.....	249
四 戦時下の村の諸相.....	250
<b>第五節 戦時下の教育 .....</b>	252

## 第六編 現 代

はじめに（近・現代編編纂主任 大橋 幸文）

### 第一章 戦後の町政 .....

<b>第一節 敗戦と戦後処理 .....</b>	261
一 戦後の混乱.....	263
二 戦時体制の解消.....	268

### 第二節 町村政治の民主化 .....

一 町村長の公選と議会議員の選挙.....	269
二 諸改革と財政の民主化.....	269

### 第三節 立科町の誕生 .....

一 合併以前の芦田・横鳥・三都和村.....	270
二 合併の経過.....	271
三 合併の際の協定事項.....	272
四 池ノ平（白樺湖）の分村.....	275
五 茂田井区の合併.....	277
六 一体性確保のために行われた事業.....	279

### 第四節 高度成長とその後の町政 .....

一 人口の動態.....	280
--------------	-----

二 財政の特徴.....	282	一 稲作(米).....	280
三 公共事業の発展と町政.....	294	二 養蚕.....	292
四 主な公共事業.....	300	三 畜産.....	300
五 同和対策事業と町政.....	304	四 麦・雑穀.....	304
<b>第二章 戦後の産業と経済</b> .....	304	五 甘藷と馬鈴薯.....	304
第一節 敗戦後のくらしと農村の民主化 .....	304	六 蔬菜類.....	304
一 敗戦直後のくらしと経済 .....	304	七 特產物.....	304
二 敗戦直後の農業 .....	306	1 リンゴ.....	304
<b>第二節 農業の民主化と近代化</b> .....	310	2 朝鮮人参(薬用人参).....	304
一 農地改革 .....	310	第三章 觀光と交通・通信	304
二 農業協同組合(農協)の設立と活動 .....	315	第一節 山林經營から觀光開発へ .....	304
三 土地改良とその事業 .....	322	一 莢科八ヶ野の開墾 .....	304
1 各地域の土地改良区の設立と県営御牧ヶ原	322	二 林業と財産組合 .....	304
農業水利改良事業 .....	322	三 観光開発への動き .....	304
2 立科土地改良区設立とその事業 .....	336	四 定期バス路線網の拡大 .....	304
3 団体営水利事業の推進 .....	336	<b>第二節 觀光開発の進展</b> .....	304
4 六川(長三郎)家の顕彰 .....	345	一 ビーナスライン建設と觀光開発の進展 .....	304
四 農業構造改善事業 .....	345	349	349
五 減反政策と今後の農業 .....	349		
<b>第三節 戦後における主な農産物の変遷</b> .....	349		

第一節 商工業の移り変わり .....	361	一 商業 .....	361
二 工業 .....	364	二 工業 .....	361
<b>第三章 觀光と交通・通信</b> .....	366	三 交通 .....	361
第一節 山林經營から觀光開発へ .....	366	四 通信 .....	361
一 莢科八ヶ野の開墾 .....	366	366	366
二 林業と財産組合 .....	368	368	368
三 観光開発への動き .....	370	370	370
四 定期バス路線網の拡大 .....	376	376	376
<b>第二節 觀光開発の進展</b> .....	380	380	380
一 ビーナスライン建設と觀光開発の進展 .....	380		

二 別荘地の造成開始.....	384
三 学校・自治体関係宿泊施設.....	385
四 女神湖の築造.....	386
五 高原観光地—白樺高原.....	389
<b>第三節 通年観光地をめざして .....</b>	<b>396</b>
一 観光施設の整備.....	396
二 美しい観光地への取り組み.....	399
三 見る観光から体験的観光へ.....	400
四 スキー場の整備.....	402
五 観光開発の課題.....	403
<b>第四節 交通・通信 .....</b>	<b>405</b>
一 交通機関.....	405
二 道路整備.....	408
三 通信網の発展.....	412
<b>第五章 町民生活 .....</b>	<b>463</b>
<b>第一節 災害と防災 .....</b>	<b>463</b>
一 戦後の主な自然災害.....	463
二 繰り返される水害.....	464
1 八・五水害（昭和二十五年八月五日）	
2 昭和三十三年の台風災害	
3 昭和三十四年の台風七号	
4 昭和三十四年の台風一五号	
5 昭和五十六年の台風一五号	
三 冷害・冷夏による被害.....	
1 昭和二十八年の冷害による災害	
2 昭和五十五年の冷害による被害	
<b>四 消防 .....</b>	<b>470</b>
1 立科村消防団の結団	
<b>第一節 六・三制教育による変化 .....</b>	<b>415</b>
一 国民学校から小学校へ.....	415
二 三都和・横鳥・芦田中学校スタート.....	418
三 長野県蓼科高等学校の設立.....	422
<b>第四章 教育 .....</b>	<b>415</b>
1 立科東、西、南小 三校の歩み.....	424
2 立科統合中学校の開校.....	433
3 蓼科高等学校の歩み.....	436
4 蓼科夏期大学の歩み.....	441

3	一団一五分団の立科町消防に 現在の消防体制	482
2	高齢者に対する町の援助 在宅福祉サービスの進展	482
1	福社施設の設置	
5	社会福祉団体の活躍	
4	第三節 町民行事	
1	一 町民運動会	
2	二 第二回町民運動会	
1	三 交通安全町民大会	483
2	四 第二回交通安全町民大会	
1	五 部落解放町民大会	484
2	六 第二回部落解放町民大会	
2	七 第三回部落解放町民大会	
3	八 第四回部落解放町民大会	484
1	九 立科えんでこ 町民祭り	
2	十 「町民まつり実行委員会」の発足	486
2	十一 歌と踊りと太鼓と	
3	十二 まつりの音曲	
4	十三 第一回「立科えんでこ」の開催へ	
	第三節 社会福祉事業の進展	489
1	一 社会福祉の課題と変化	
2	二 児童福祉（保育所の設置と青少年健全育成）	489
3	三 生活補償の拡大（医療費補償制度の進展）	489
4	四 老人福祉の進展	501

## あとがき

「立科町誌 歴史編(下)」関係者名簿  
 刊行会委員 執筆者 引用・参考文献 協力員 写真・資料提  
 供者 町誌編纂委員 事務局関係（教育委員会・町誌編纂室）